

原・居平遺跡



作業風景



遺跡の現況

原・居平遺跡は、魚野川左岸、標高約138mの上ノ原段丘面に位置し、およそ5,000年前に営まれた縄文時代中期の集落遺跡です。本遺跡からは、竪穴住居跡36軒、土坑跡4基をはじめとする生活跡が発掘調査で確認されました。また、主な出土品では約5,000年前の火焰型土器や打製石斧、磨製石斧、磨石類など、当時のヒトが使った道具が多く出土しています。

本遺跡の火焰型土器は、ほぼ完全な形で出土し、平成20年3月25日に魚沼市指定文化財に指定されました。本遺跡と出土品は日本遺産の構成文化財でもあります。

魚沼市教育委員会



火焰型土器